

時期	年間通して	時間	半日程度
難易度	★★☆	対象	どなたでも

プランクトン観察



<活動の概要>

磯に住むプランクトンを調べる活動です。透明で何も無いような海水ですが、顕微鏡を使って詳しく調べると、様々なプランクトンが発見できます。このプランクトンたちが、海の世界の食物連鎖の底辺となり、豊かな海を支えています。

環境を考える総合的な学習として取り組むことが可能です。

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

活動のねらい

- ・プランクトンを観察することで、海の生物や環境などについての知識や興味・関心を高める。
- ・観察器具の正しい使い方を身に付ける。
- ・ルールを守り、安全に対する意識を高める。

準備物(1人あたりに必要な数量)

自然の家で準備しているもの (こちらでご用意している数)			団地で準備するもの
用具名	場所	個数	用具名・材料名
資料「トビーのおもしろミクロの世界」	事務室	多数	軍手
生物顕微鏡	海の学習室	8台	タオル
ビーカー (200ml)	海の学習室	13個	運動靴
(100ml)		3個	濡れてもよい服装
※カバーガラス	海の学習室	多数	帽子(夏季)
※スライドガラス	海の学習室	多数	
※カバーガラス、スライドガラスはこちらでもご用意していますが、 できるだけ団地で用意をお願いします。			
ピペット(大)	海の学習室	2本	
(中)		10本	
シャーレ(大)	海の学習室	1枚	
(小)		20枚	
プランクトンネット	海の学習室	5本	

※自然の家で準備している活動用具の数は「利用ガイド～資料編～」にも記載されています。

準備の際の参考にお使い下さい。

※海の学習室・食器棚には鍵がかかっています。鍵は事務室で貸出可能です。事務室にてお声かけください。



手順

- (1) プランクトンネットを使って、プランクトンを採取します。



- (2) 海で採取したプランクトンをシャーレに移し、シャーレに移したプランクトンをピペットで吸い取り、スライドガラスにのせます。その後、カバーガラスをのせます。
※カバーガラスは気泡が入らないようにのせましょう。



- (3) プランクトンをのせたスライドガラスを顕微鏡のステージにのせて、観察していきます。
※ 資料「トビーのおもしろミクロの世界」を見ながら、どのプランクトンかを確かめながら観察しましょう。

活動場所: 多目的棧橋・赤石浜・島の越(タイドプール)・海の学習室

<プランクトン採取>

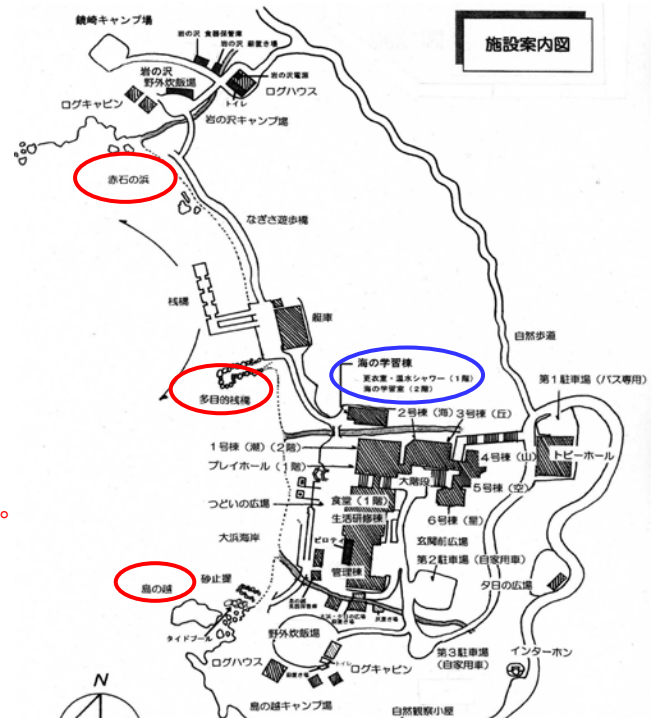
- ・多目的棧橋
- ・赤石浜
- ・島の越(タイドプール)

<プランクトン観察>

- ・海の学習室

海の学習室は鍵がかかっています。

鍵は事務室で貸出可能です。事務室にてお声かけ下さい。



ふりかえりの視点

- 安全に気を付けながら、意欲的に取り組めたか。
- 様々な種類のプランクトンを観察し、海の中の環境や、食物連鎖について考えることができたか。
- 顕微鏡やビーカーなどの用具を正しく使うことができたか。

指導上の留意点

- 岩場での安全について、事前指導を十分にしてください。特に、島の越、赤石の浜で活動する場合には、十分な指導監視体制をとってください。(単独での行動はしないこと。)
- 観察器具の後始末については、洗える物(プランクトンネット・ビーカー・カバーガラス・スライドガラス・スポイト・シャーレ)はしっかり水洗いして乾かし、洗えない物(顕微鏡)は硬く絞った雑巾で塩気を取ってから片付けてください。

国立若狭湾青少年自然の家 プログラム集 クラフト編 修正版:H30.1

作成:平成29年3月 国立若狭湾青少年自然の家 〒917-0198 福井県小浜市田鳥区大浜

執筆:西浦 達郎(企画指導専門職) 小林 祥之(総務係員) 古崎 佳江(総務係員)